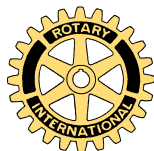


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2025～2026年度 国際ロータリー フランチャスコ・アレツォ 会長テーマ

UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう

創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 近藤 純子  
幹事 加藤 大志朗  
会報委員長 杉浦 守康

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第3305回例会プログラム

[当年度=25回目；当月=2週目]

2026年（令和8年）3月9日(月)

職場例会 於：小林クリエイティブ株式会社

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:00 〈食事〉

- 12:30 1. 点鐘……〈会長〉  
2. 開会宣言  
3. ロータリーソング斉唱……我等の生業  
4. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
5. 会長挨拶並びに会長報告  
6. 幹事報告  
7. 出席報告  
8. 委員会報告  
9. ニコニコボックス報告  
10. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(3/16) ……休会  
(定款第7条第1節 (d))

(3/23) ……

クラブフォーラム(公共イメージ向上委員会)

卓話 「医療分野の現状と

豊田会の取り組みについて」

講師 刈谷豊田総合病院

事務部長 山田 達也 様

(紹介者 内藤 昇 会員)

## 2. クラブフォーラム……………〈司会：職業奉仕委員会〉

12:45～ 「ご挨拶」

小林クリエイティブ株式会社

代表取締役社長 小林 友也 様

(紹介者 兵藤 文男 会員)

12:50～ 「会社紹介・概要説明」

11. 謝辞  
12. 諸事ご案内……〈職業奉仕委員長〉

13:30 13. 点鐘……〈会長〉

13:30～14:30 見学

## 出席

会員総数 93名 出席免除 21名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 77名  
欠席 9名 出席率 88.31%  
前々回(2/21)の修正出席率 100%

## 幹事報告

- 1) 3月11日に東日本大震災より15年となります。震災に対するロータリーの活動がTV放映されることの紹介です。3月13日(金)NHK朝6時台「おはよう日本」の番組中、「ロータリー希望の風奨学金プロジェクト」15年の歩みについてです。このプロジェクトは、両親または片親をなくした子どもたちへの学業支援を目的にしたもので、当時のガバナー会が立ち上げたものです。

## 会長あいさつ

近藤 純子



皆さん、こんにちは。本日は、小林クリエイティブ株式会社様にお伺いしての職場例会です。

この場に小林会員のお姿がないことは、大変寂しいことでもあります。生前、小林会員には、小林クリエイティブ株式会社様での職場例会開催をご快諾を頂いておりました。そのご遺志を社長様をはじめ会社の皆様を受け継いでくださり、本日の開催に至りましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、先週のことですが、新幹線で東京へ向かいました。私はいつも富士山側の席を予約するのですが、最近雲に覆われていることが多く、なかなかその姿を拝めませんでした。

ところが3月5日、前日の雨が空気を洗い流したのでしょう。青空の中に、雪を頂いた富士山がくっきりと現れました。車内には車掌さんのアナウンスが流れ、あちこちでシャッター音が響きました。

富士山が見えると、なぜか無条件に嬉しくなり、「何か良いことがありそうだ」という気がしてきます。古来、富士山は「末広がり」で縁起が良く、長寿や繁栄を象徴する「霊峰」として日本人の心に刻まれてきました。「一富士、二鷹、三茄子」と言われる通り、まさに別格の存在です。

また実は、富士山は意外と見える日が多くありません。雲がかかりやすく湿度の高い日本では、くっきり見える日は限られています。だからこそ、ふと美しい富士山に出会えると、特別な日、何か良いことがありそうな気持ちになるのかもしれない。

徳川家康も富士山を大切にしていたと言われています。家康が晩年を過ごした駿府城からは、晴れた日には美しい富士山を望むことができます。また富士山は「不死(ふし)」に通じるとも言われ、繁栄が長く続く象徴とも考えられていました。

実は私も10年ほど前、取引先の方に誘われ、「富士山に登る前の練習に」と、近くの金時山に登ったことがあります。頂上から眺めた初冠雪の富士山は、言葉を失う

ほど美しく、「次は富士山だ！」と胸を躍らせたものです。しかし、それから10年。未だにその「次」は実現していません。

「富士山は一度も登らぬ馬鹿、二度登る馬鹿」という言葉もございます。一度も登らないのはもったいない。しかし二度登るほど楽な山ではない、という意味だそうです。私もいつかは「一度も登らぬ馬鹿」を卒業したいと思っておりますが、今のところは「富士山は登るものではなく、遠くから眺めるもの」という言葉を、自分への言い訳にしている次第です。

さて、その富士山ですが、2013年に世界遺産に登録されました。興味深いのは、自然遺産ではなく「文化遺産」として登録されたことです。それは富士山が単なる高い山ではなく、信仰の対象、あるいは芸術の源泉として、日本人の精神文化に深く根付いてきたからだそうです。

富士山を見ながらあれこれと思いを巡らせたことをお話しさせていただきました。

本日もどうぞよろしく願い致します。

## 職 場 例 会

## 〈職場奉仕委員会〉



小林クリエイティブ株式会社  
代表取締役社長 小林 友也 様



